

救急車・ホットラインの応需率

救急車受け入れ要請のうち、何台受け入れができたのかを示しています。この指標は、救急診療を担当する医療者の人数、診療の効率化、入院を受け入れる病棟看護師や各診療科の協力など、様々な要素が関わってきます。

【当院の活動】

当院は横浜市2次救急拠点B病院として、救急医療体制の充実を図り、出来る限り救急車を受け入れできるよう努めています。夜間は内科、脳神経外科、外科または整形外科の3名の医師が当直し、緊急手術や緊急内視鏡にも対応しています。

対象病棟： 一般病棟、回復期病棟、地域包括ケア病棟

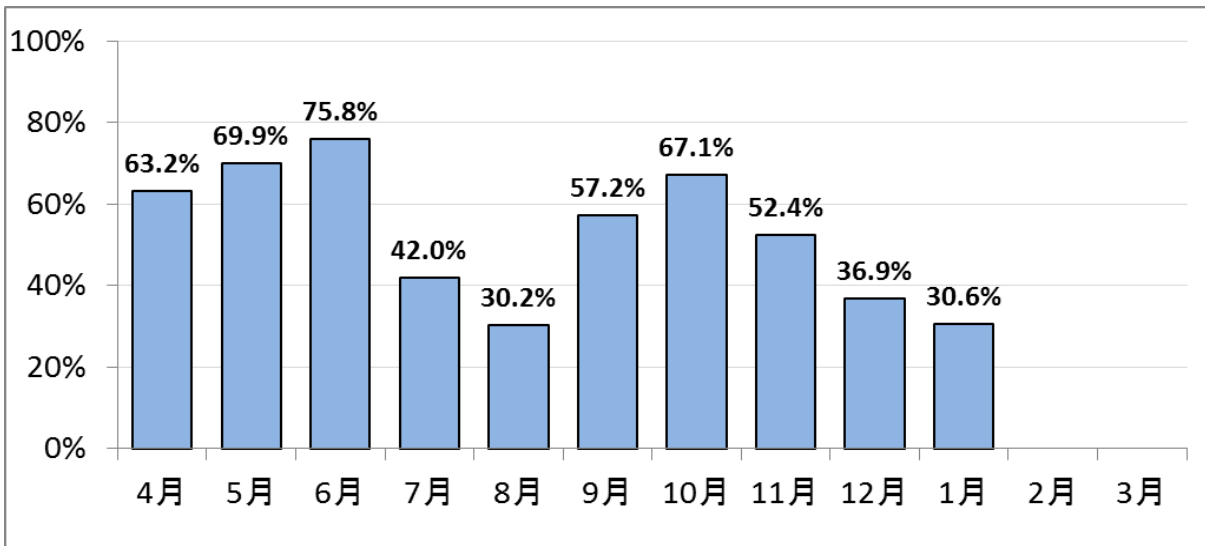
計算式：

$$\frac{\text{分子) 救急車で来院した患者数}}{\text{分母) 救急車受け入れ要請件数}}$$

対象期間： 毎月

データ件数:

	2022年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分子	244	251	317	282	193	230	239	232	268	248		
分母	386	359	418	672	639	402	356	443	727	810		
応需率(%)	63.2%	69.9%	75.8%	42.0%	30.2%	57.2%	67.1%	52.4%	36.9%	30.6%		



●年度別比較

データ件数:

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
分子	3,002	3,031	2,754	2,707	2,229	2,654
分母	4,116	4,221	3,862	3,762	3,585	4,613
応需率(%)	72.9%	71.8%	71.3%	72.0%	62.2%	57.5%

